

広沢だより



令和6年度3月臨時号

京都市立広沢小学校

《学校教育目標》未来に向かって、自分らしく笑顔で取り組む広沢の子
~何事にもしなやかで折れない心(レジリエンス)の育成~

学校評価アンケート結果のご報告

12月に「学校評価アンケート」を実施しました。児童・保護者の皆様とも Forms を活用して実施しました。保護者の皆様の回答率は86.6%と、今回もたくさんのご意見をいただきました。その結果から考えられる成果と課題、さらに学校運営協議会の皆様よりいただいたご意見をあわせてご報告させていただきます。

「確かな学力」の育成に向けて

楽しい学校、確かな学力を目指して

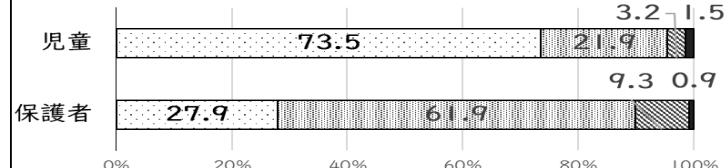
今回のアンケートでは、「学校は楽しい」「学校の勉強はよくわかる」等、子ども達・保護者も「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が前期に比べるとやや減っていました。しかし、「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が9割程度あり、学習に意欲的に取り組んでいることが表れているのではないかと思います。

本校では、楽しくわかりやすい授業をめざして、「自ら進んで自分の思いや考えを伝え合い、学びを深め合う子」という研究主題のもと、「算数科」「特別の教科道徳」を中心とした校内研究を進めてきました。授業の中で、子ども達が対話を通じて意欲的に学習を深め合うことを大切にしてきました。教室での先生や学級の友達との対話だけでなく、違う学年の友達との対話、学校や地域の方々との対話等、いろいろな場面での対話に取り組んできました。

今後、さらに子ども達が主体的・協働的に学習に取り組む授業を目指して、授業改善に取り組んでいきたいと考えています。



⑨学習用コンピュータは学習に役立っていますか。



GIGA端末を使って、調べたことをまとめ、発表しています。

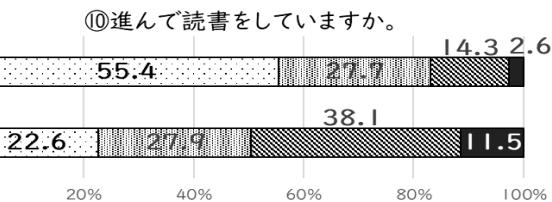
学校評価アンケート結果のご報告

12月に「学校評価アンケート」を実施しました。児童・保護者の皆様とも Forms を活用して実施しました。保護者の皆様の回答率は86.6%と、今回もたくさんのご意見をいただきました。その結果から考えられる成果と課題、さらに学校運営協議会の皆様よりいただいたご意見をあわせてご報告させていただきます。

本を読む習慣を大切に!

今回の結果では、前期よりも「そう思う」「だいたいそう思う」の結果が減ってしまいました。

学校では、本を使っての学習を進め、本に親しんでいる子ども達ですが、やはり家庭では読書よりも他のことが楽しいのでしょうか。今後も、学校では、本に親しむ取組を大切にして行きたいと思います。ぜひ家族で本を読む時間や図書館等に行く時間を作り、読書に親しんでほしいと思います。



100点満点のあいさつ!

今回のアンケートで、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答率が前期より最も下がったのが、「自分から気持ちよい挨拶をする」という項目の児童の回答でした。

あいさつについては、4月のハッピーデーに「100点満点あいさつ」について学習したり、委員会活動であいさつをしようという取組をしたり、PTA活動で「声かけ運動」を行ってもらったりしています。しかし、それでも進んであいさつができる子が多い結果となりました。今後、あいさつをして笑顔があふれる学校にしていくよう取組を考えて行きたいと思います。

- 100点満点のあいさつ
- ①相手の顔を見て
- ②笑顔で
- ③会釈して(おじぎをして)
- ④自分から
- ⑤だれにでも



【運動会:6年集団演技】
何度も練習し、心を一つにした演技を披露しました。



【休み時間:一輪車】
乗れない一輪車に果敢に挑戦し、見事に乗りこなす子が何人いました。

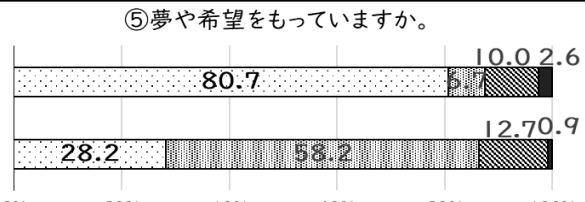
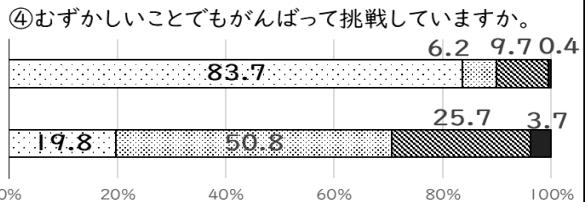
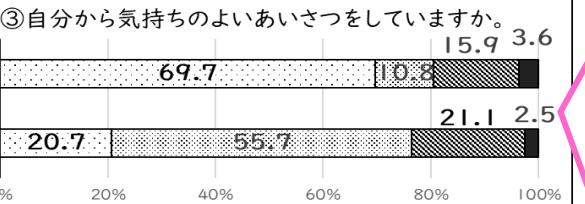


【幼保小交流会:
1年あきパーティー】
来年度1年生になる園児さんを招いて「あきパーティー」を開きました。どんぐりや木の実でおもちゃを作り、園児さんに楽しんでもらえるようにいろいろな工夫をして、大成功をおさめました。



【5年山の家宿泊学習】
みんなで協力して火起こしをしたり、野外炊事でカレーライスや焼きそばを作ったり、キャンプファイヤーを楽しんだりしました。

「豊かな心」の育成に向けて



難しいことにも挑戦! 夢や希望をもって!

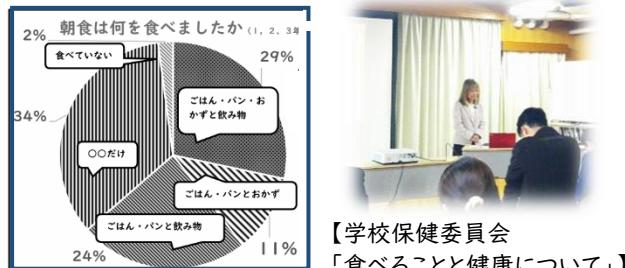
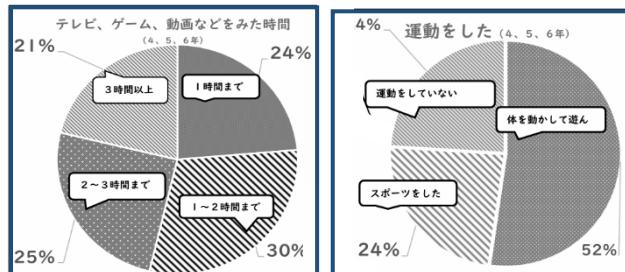
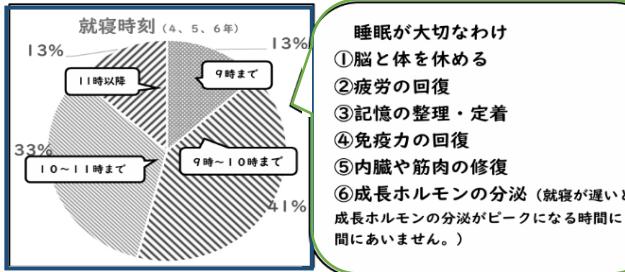
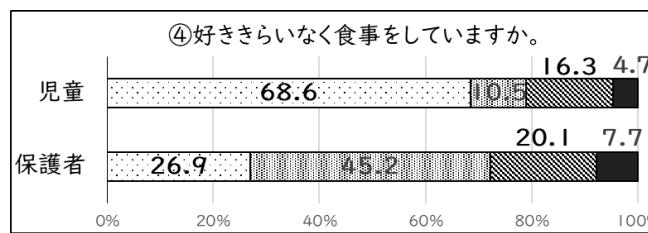
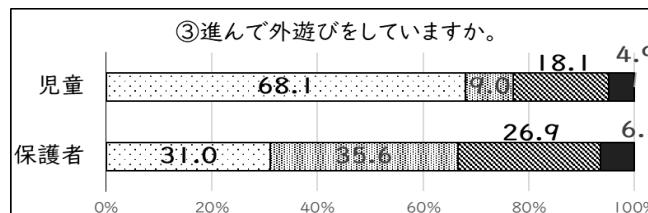
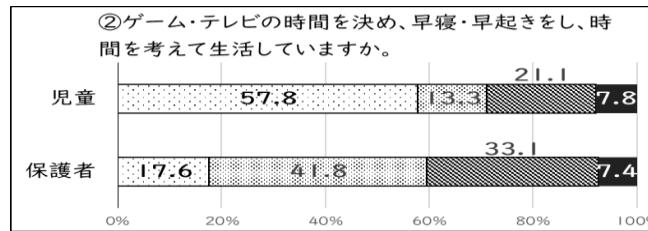
広沢小の学校教育目標である「未来に向かって」、「何事にもしなやかで折れない心(レジリエンス)」に関わる項目です。今回は、前期より「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が減っています。特に、保護者の「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦しようとしている」という回答が、前回増えた「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が、今回は7.6%も減ってしまったことは残念な結果です。

けれども、子ども達はいろいろな場面で、何度も練習をしたり、友達と力をあわせたりして挑戦する姿を見せてくださいました。それぞれの場面で、失敗を恐れずに挑戦し、レジリエンス力をつけてきた子ども達です。その力を、これからさらなる課題にも挑戦する力として、自分の夢に向かって進んでいってほしいと思います。

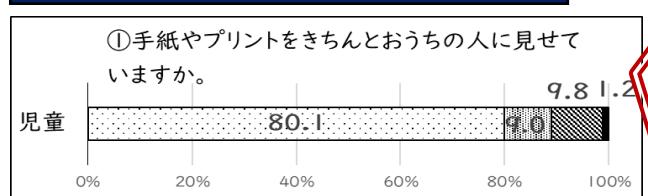


【2年九九にチャレンジ】
校長先生・教頭先生に問題を出してもらって、「九九名人」になるために何度も挑戦しました

「健やかな体」の育成に向けて



保護者の皆様への連絡について



規則正しい生活習慣の見直しを！

「テレビやゲームの時間を決め、早寝早起きをして、時間を考えて生活している」という項目は、前回のアンケート結果ではそれよりもよい結果だったのですが、今回はまた、「そう思わない」「あまりそう思わない」という回答が増えてしまいました。

また、「外遊びをしている」「好き嫌いなく食事をしている」という項目でも、「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答している児童・保護者がこれまでのアンケート結果よりも増えてしまいました。

「ほけんだより」でもお知らせしましたが、冬休み明けに子ども達に実施した「すこやか生活しらべ」の結果は左に示したグラフのような結果でした。「就寝時刻」を見ると、4・5・6年生的回答で、11時以降に寝ている子が13%います。十分な睡眠時間が確保できていないではないでしょうか。また、「テレビ、ゲーム、動画をみた時間」を「3時間以上」と答えている子が21%います。このテレビやゲーム、動画視聴の時間が、就寝時刻の遅さに影響を与えると考えます。睡眠は、左にあるように子ども達の健康と成長にはとても大切です。

外遊びが減っていますが、「すこやか生活しらべ」でも24%の子が「運動をしていない」と回答しています。成長期の子どもにとって体を動かすことも重要です。

また、食についても、今回の学校評価を見ると、課題があると言えます。今年度の学校保健委員会で、岩崎正美先生より『知ってびっくりingNEWS ~プラス栄養学、再び~』と題して教えていただきました。「子どもが『〇〇が食べたい』と言って、それを与えなくて機嫌が悪くなったりしても、目の子どもの機嫌よりも、10年後にどんな子どもに育ってほしいかを考えて、子どもに食べさせるべきだ」と教えていただきました。

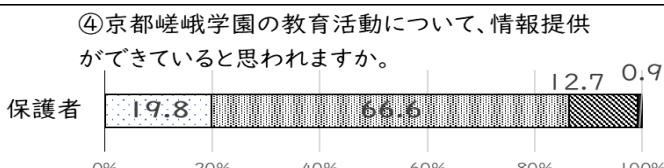
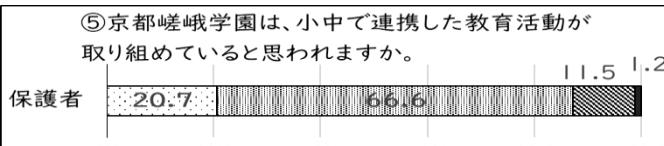
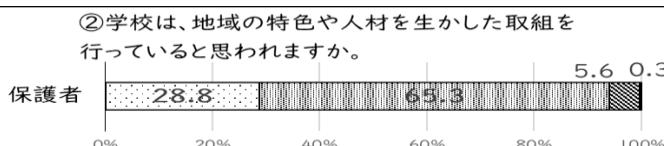
健やかな体は、家庭との連携がとても大切です。先日も、「家庭でメディア機器との付き合い方を考えよう」というリーフレットを配付し、活用をお願いしました。インターネット依存度を診断し、その後のおうちでの活用ルールをお子さんと話し合って実践してほしいと思います。まだのご家庭はぜひ活用してみてください。

また、他にも学校では健やかな生活についての学習を行っています。学校での学習についておうちでも話し合い、朝から元気に学校に来て、1日笑顔でがんばれるができる心と体を大切にしてほしいと思います。

「すぐーる」配信のこまめな確認をお願いします！

おうちの方への連絡については、「すぐーる」の活用が定着してきたことから、3学期より「すぐーる」を使っての配信に変えさせていただいている。学校評価のアンケート結果を見ると、90%の児童はきちんとおうちの方に手紙やプリントを見せているようですが、10%の児童はきちんと見せていないことがあるようです。連絡が確実に伝わるためにも「すぐーる」配信をさせていただいている。ご不便をおかけすることもあるかとは思いますが、「すぐーる」で配信することにより、紙の削減、子ども達へのおたより等の配付時間の削減ができ、教員の負担も軽減されました。こまめに確認していただき、どうぞご協力をお願いします。

地域・PTA・京都嵯峨学園との連携について



【3年生：
「有栖川を考える会」の方のお話】
地域の川をきれいにするために活動されていることを教えてもらい、自分達でできることを考えました。

【京都嵯峨学園】

11月には授業研修会で、嵯峨中の授業の様子を見て、9年間の学びについて研修を行いました。



地域・PTAとの連携、京都嵯峨学園の取組の充実に向けて

今回のアンケート結果では、地域や京都嵯峨学園の3校（嵯峨中・嵯峨小・嵐山小）との連携についての項目で、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答率が低くなりました。

今年度、地域の方々との行事や、ゲストティーチャーとしてお越しいただいて学習すること機会が何度もありました。京都嵯峨学園の4校での合同研修会や「嵯峨中パレード」、6年生の「中学体験～嵯峨中へ行こう」等を行い、小・中学校9年間を見通した教育について考える機会ももちました。

しかし、アンケート結果が下がったのは、十分な情報提供ができていなかったこと、また、子ども達や保護者の皆様のニーズにあった取組ができていなかったのではないかと考えます。今後、取組等の見直しをしながら、子ども達のよりよい成長のために地域・家庭、他校との連携・協力を大切にしていきたいと思います。

学校運営協議会理事会でのご意見

○家庭での生活については、おうちの方のご協力が必要。

- ・今は、通信して人とつながってゲームをしている。すぐに終われないことがあるようだ。
- ・ゲームやインターネット等を使っていると子ども達は自分で静かに過ごすことができるが、やはり、おうちの人との関りが大切なので、時間を作つて関わるようにしてほしい。

○外での遊び場が限られているので、道路等で遊んでしまっている。

- ・外に出て遊べる場が必要となっている。学校等を開放して遊べるようにできればよいが、休日等は管理が難しい。

○今の学習では、計算の答えが分かるだけが大切なではなく、なぜその答えになるのかを説明することが大切になっていると感じる。

○多様な学びを保障できるようになるとよいと思う。

○学校評価アンケートは、保護者が学校の様子について答えるのは難しい。家での子どもの様子を見直す機会として活用できるようにしていきたい。

